

## わくわくキャンパス体験記

本紙10月号でご紹介した海浜打瀬小のわくわくキャンパスを実際に取材してきました。課題に熱心に取り組む子ども達とキャンパスを支える運営側の頑張りについてお伝えします。

【加藤】

わくわくキャンパスとは、千葉市が推進する「放課後子ども教室」という事業です。海浜打瀬小では、月2回程度、木曜日の午後2時50分から午後4時20分頃まで行われています。

取材に伺った日のプログラムは、運動系は、バドミントン又はドッジボール、文化系は家庭科室での麩(ふ)ラスク作りでした。

### ■各プログラムの見学

まず、ドッジボール班から。場所は校庭。2チームに分かれて対決です。人数に差が出るので、勝敗は外野の数で決めるなどのルールを予め説明。主審、副審、線審は保護者が担当します。生徒30名、保護者10名位が参加していました。

対決が盛り上がったようで、一番遅くまでこの班が頑張っていました。

終了後、生徒にインタビューすると「楽しかった!」「全部勝った!(3戦全勝)」と元気な答えが返ってきました。



次にバドミントン班。場所はアリーナ。室内にバドミントンコートが2面あり、そのコートの間にもネットを張ってミニコートを作ります。生徒26名、保護者13名位が参加していました。

最初に指導員が球出しをして打ち返す練習をし、それからサーブ練習、試合へと進みます。練習中の生徒たちは、ショットが決まると「イエーイ!」と歓声をあげ、楽しそうです。

終了後のインタビュー。「普段できないから楽しかった。羽(シャトル)もないし、ラケットもないし、授業ではやっていないから楽しかった」

最後に文化班。今日は、お麩でラスクを作ります。最初に指導員がお手本を見せます。生徒たちは皆真剣な表情で観察しています。お手本が終わると、4、5名ずつ一組のテーブルについて、自分たちで作ります。教室内のコンロを使ってフライパ

ンにバターを溶かし、麩を入れて。うーん、良い匂い。でもバターを使っているの、ちょっと油断すると黒焦げになるらしい。

こちらにも生徒にインタビュー。「結構簡単だった。お麩でこういうのができると思わなかった!」と満足げな様子。達成感を感じている様子です。

料理系のプログラムは、半期に1回程度、運動系の男子にも行われるそうです。女子は慎重で丁寧、男子は大胆で手際が良い、などの特徴があるとのこと。



どのプログラムについても、生徒は元気いっぱい、とても楽しそうに取り組んでいました。取材する記者にも「こんにちは!」と元気に挨拶してくれました。

### ■運営側の活動

わくわくキャンパスには90名位の生徒が参加するので、これを支える運営側の頑張りは大変なものです。

組織としては、「海浜打瀬わくわくキャンパス実行委員会」と事務局があります。実際のキャンパスの運営を行うのは主に事務局員・地域協力員の皆さんです。コーディネーターを筆頭に20名いらっしゃいます。この他に、毎回十数名の協力員(参加生徒の保護者)の方が参加されているようです。

キャンパス開始の約1時間前から事務局の皆さんが集まり始めます。30分くらい前には協力員も集合して、全体ミーティングが始まります。今回は皆さん女性でした。コーディネーターから、当日のプログラムの内容、各自の役割や受付方法、終了時刻等の説明がなされます。今回は後期の始まりということもあり、文化系の集金に関する注意点など細かな点まで丁寧な説明がありました。

ミーティングが終わると、各自持ち場へ移動します。

例えば、受付。生徒たち一人一人の出席カードを机に並べ、名簿も用意します。それから名札作り。文化系はクリップ式の名札で良いのですが、運動系はそれだと危な

いのでガムテープに名前を書いて、簡易名札を作ります(運営側手作り)。プログラム担当は各場所で道具を準備します。

午後2時45分ころから少しずつ生徒が集まり始め、わずか10分ほどの間にほぼ全員が受付を終えました。一気に波が押し寄せて去って行く。そんな印象です。感心したのはそうした慌ただしい中で全体をまとめる事務局の気配りです。「お金忘れた子いない?」「無くしたとか言っていた子はいない?」と受付担当に確認したり、来ていない生徒が休むといっていたかどうかなどを同級生に確認したり。出欠の最終確認と集金の最終チェックなども行います。

プログラムが終わってからも気配りは続きます。「お習字の道具忘れてるよ!」「お菓子落としましたよ!」と生徒に声かけをしたり、文化系プログラムで作ったお菓子を協力員に配ったり、終了時刻を気に掛けて協力員に帰宅を促したり。普段から気の利かない私は、感心しきりでした。

生徒や協力員が帰った後、夕方の忙しい時間帯にもかかわらず事務局の皆さんが居残り取材に応じてくださいました。見るからに大変そうな役割でしたので、私が予想していたのは「立場上仕方なくやっている」というような感想でしたが、それは大変失礼な予想でした。どうして事務局をしているのかという問いへの回答は、「子どもと一緒にいられる時間は限られている。少しでもふれあう時間をとりたかった」「自分が楽しいから続けている。楽しくなかったら続かない」というポジティブなものでした。中には5年連続で事務局をされている方や、お子様が卒業された後も事務局を続けている方もいらっしゃいました(びっくり!)。他にも「保護者として学年を超えた付き合いができる」「お茶やお菓子を持ち寄って、皆で終わった後にお話をするのも一つの楽しみ」との声もありました。

そんな事務局の皆さんの合い言葉は「無理しない」。人それぞれ提供できる資源は異なるけれども、各自が「無理しない」範囲で時間や技能を提供し合って、今はそれが絶妙なバランスでかみ合っているそうです。お仲間は随時募集中のようですので、興味を持たれた方は参加してみたいかがでしょうか?



## 私の街の「フォトスタジオ」

パティオス 18 番街にあるフォトスタジオの「Photogenic」（フォトジェニック）が先日オープン 1 周年となりアニバーサリーイベントを開催していたので、オーナーの吉田さんにお話を伺ってきました。

皆さん、写真ってどんな時に撮りますか？ 最近では、携帯電話のカメラ機能が充実し、一眼レフだけでなくコンパクトなミラーレスカメラの普及などで、かなり高レベルな写真がご自分のカメラで撮れることになりました。今ではプロの方に写真を撮ってもらおうという機会は少なくなっているかもしれません。



しかし、そうはいつでもお誕生日・成人式・七五三などの人生の節目のイベント時には「ちゃんとした」写真を撮ることは昔から変わらず続いていると思います。そういった時には以前は街の中に必ずあった「写真館」に行くことがあったと思いますが、最近ではそういった写真館はあまり見かけなくなった気がします。

そんな中、Photogenic では「思い立った日が撮影日」というカジュアルな気持ちでフォトスタジオを訪ねてくれたらと思っています。もちろん普通のフォトスタジオと同様、ヘアメイクさんをお呼びし着付をお願いしたりすることもできます。

あまりかしこまらず、自分のブログ用の写真を撮ってもらったり、安産祈願のベリーペイントをやってもらったり、あるいはオーディション用のプロフィール撮影など、ちょっとした事でもあま

る。自然光で撮れるように作られています。フォトジェニックのスタジオ。採光にこだわりの自然光で撮れるように作られています。

り構えずに気軽な気持ちで利用していただければ、とのことです。

Photogenic のスタジオに入って最初に気が付いたのは室内がとても明るいことです。普通フォトスタジオというと建物の奥まった窓のない部屋で人工的に作られた光を駆使して撮影することが一般的です。

しかし、このスタジオでは日によって、あるいは時間帯によって刻々と変化し、人工の光よりかなり難易度の高い「自然の光」を使って撮影することに非常に強いこだわりを持っています。

そのため、お店も通りの角に面して写真を撮るスタジオには窓がたくさんあり採光が良く色々な状況を想定して撮影できるように工夫されています。

お店では写真を撮るだけでなく、写真教室や写真編集ソフトウェアの講習など写真に関する色々な事も教えてくれるとのこと。写真館 Photogenic は 18・15 番街の交差点に面しています。お気軽に覗いてみてください。【梶山】

Photogenic : TEL 043-211-0025



## みんなの居場所「ひだまりスペース」

コアのお隣、「幕張ベイタウン地域連携センター（通称：センター）」で、社会福祉協議会打瀬地区部会主催の新たな取り組みがスタートしているのをご存知ですか？ その名は「ひだまりスペース」。～ひとりでもどうぞ、だれとでもいっしょに、まったく過ごして、リラックスしませんか？～とのキャッチフレーズ。頭文字をとると「ひだまり」となります。（「地域連携センター」についてはベイタウンニュース 190 号、195 号に紹介しています）。

自分も子どもを連れてふらっと立ち寄り、お茶など飲みながら地域の人たちと気楽に話せるコミュニティカフェのような場所があったらいいなあ、と思っていたところマンションの掲示板に案内が。まさにイメージに近い場だと取材することにしました。

訪ねた日は寒い曇り空の 11 月 20 日午後。ふらっと入るには少し勇気があるプレハブ風の建物ですが、入口のウェルカムボードとグリーンに、そんな人への配慮を感じます。

扉を開けると担当の方々が温かく迎えてくれました。6 人ほどで囲めるテーブルが

4 つ。12 時過ぎはまだ誰も来ていませんでしたが、昼食を持参して食べることもできます。お昼を済ませてから来る方が多いのですが、子育て中のママだったら、小さい子どもとお昼を食べるのにも目が行き届くスペースで良い場所かなと思います。13 時頃になって訪ねてくる方が増えてきました。セルフサービスのお茶やコーヒーをカップに注いで、ひとつのテーブルを囲みおしゃべりが始まります。

通っていたサークル自体がなくなってしまい、リフレッシュの場に困っていたという 80 代のご婦人方は常連だそうで、お手玉が健康維持にも良い、という話からお手玉披露が始まります。昔から得意、という女性の見事な腕前に皆大盛り上がり。この日は大人だけでしたが、子どももこの場に居たら自然と交流も生まれるのではないかと思います。将棋を通した大人と子どもの交流もあるそうです。

来ている皆さんの笑顔を見ていると、誰かと話すとって大事なんだなあ、と改めて感じられ、外の寒さとは対照に心あたまる優しい時間が流れていました。

ひだまりスペースを開くきっかけとなったのは、社協の会員家族から「自転車であ

いたウンを走行中、犬の散歩でリードを長くしたまま携帯電話を見ている人が居て、リードに引っかかって転倒しそうになりヒヤリとした」という話を聞いた時のことです。こうしたちょっと困ったことや相談を気軽にできる場ってないよね、という意見からスタートしたそうです。

相談だけでなく、ちょっとおしゃべりして気分転換したい方、ひとりで留守番する（次ページにつづく）



のが心細いお子さん（託児所ではないので保育はできません）もどうぞとのこと。

個々人で編み物など趣味を持ち込んで、一緒に楽しんでいる方もいるそうです（サークルなど団体での利用はできません）。本を持ち寄って感想などおしゃべりしながら紹介しあうのも楽しそうですね。もちろん、一人で勉強したい、という方も歓迎とのことですよ。

10月よりスタートし、毎回平均20名前後が足を運び、1歳6ヶ月～96歳の方までの利用があるとのこと。ベイタウンのあたたかい人のつながりが広がる素敵な居場所になるといいですね。

オープンは無休木曜日の12時～16時。ベイタウン在住の方が対象です（無料）。最初の一步は少し勇気があるかもしれませんが、ぜひ気軽にのぞいてみてください。

12月は一回のみの開催で12/11（木）。1月は8、15、22、29日の4回を予定しています。【齋田】

お問合せは、千葉市社会福祉協議会 打瀬地区部会 担当：井上さん（TEL/FAX：211-7667）



記事中でも紹介されていたお手玉を楽しむみなさん。

## ベイタウンの救急事情

皆さんは、救急車で自分や身内の方が運ばれたことはありますか。先日友人とそんな話になり、意外に老若を問わずお世話になったという人が多いと感じました。実は私も添乗でしたが救急車に乗ったことがあります。そこで今回、私たちの安心を守る救急について考えてみました。全国的な問題となっている救急医療体制は千葉市でも楽観できる状況ではありませんでした。

最初に先日消防署で伺った身近な数字を紹介します。救急車のベイタウン内への出動は今年1月～9月で合計374回、9月で39回。打瀬出張所にある救急車は、他地域にも出動するので一日平均6.16回という忙しさです。出張所の前を通ると、出動中で車がないこともしばしばあります。千葉市全体の年間出動数（平成25年は53,396件で過去最多）は年々増え、住民の高齢化を考えると平成30年は70,000件になるという予測でした。

消防署は、「なんとかこの増加を食い止めたい。約6割が軽症なので、この部分をどうにか減らし、生命に危険が迫っている重篤な傷病者を確実に救いたい」

確かに救急車を呼ばずに対処できるほうがいいですが、そのために、診療のない時間つまり休日や夜間に急病になった場合に



自力で対応できる方法を想定しておこうと考えました。

まず、活用するのは「ちば市民便利帳」。その42ページに、医療機関案内のテレホンサービスの番号が掲載されています。夜間応急診療は海浜病院（美浜区磯辺）内にあり、休日は総合保健医療センター（美浜区幸町）の休日救急診療所があります。また、子ども急病電話相談 #8000 というものも紹介されて看護師や小児科医によるアドバイスを受けることができるのですが、利用時間帯が午後7時～10時です。もう少し利用可能時間が延びると判断に迷う親の心強い味方になるのに、と思いました。

ベイタウン目線で考えると、前述のふたつの医療機関は同じ美浜区ですぐ近くです。ただし、夜間救急の受診経験者によると、夜急診は時期によってとても混んでいるときがあり、数年前に年末に行ったところ、様々な年齢層の様々な病状の人が集結して、大変な状況だったそうです。平成22年5月の大型連休には最大3時間の待

ち時間が記録されています。

次に子育て中のお母さんたちの口コミ情報です。ベイタウンにはパティオス17番街の幕張ベイクリニックが日曜に診療時間を設けており、お世話になった人も多いでしょう。このごろは大型店舗の中に病院が併設されるようで、美浜区豊砂のドクターランドという総合クリニックは日曜祝日の診療があり、稲毛のサティクリニックも日曜日の診療があります。稲毛海岸駅周辺には3件の医院が日曜にも診察しているのでベイタウン周辺の医療の環境は（質的な面はわかりませんが）確実に空白時間が少なくなっています。

近年「救急外来のコンビニ受診」という言葉が生まれ、「適正な受診を」が呼びかけられています。臨機応変の判断は難しいとは思いますが、備えあれば憂いなし。適時病院情報を病院検索サイトなどで確認しておき、熱中症やインフルエンザなどの季節ごとの病気の特徴を把握し、いざというときにあわてないようにしたいものです。皆さんお身体お大事に。

【小原】

## 緊急時および休日診療のある医療機関の連絡先

海浜病院（夜間応急診療）	☎279-3131	内科 / 小児科
総合保健医療センター（休日救急）	☎238-9911	内科 / 小児科 / 外科 / 整形外科 / 耳鼻いんこう科 / 眼科 / 歯科
夜間外科系救急当番の案内	☎244-8080	案内時間 8:00～翌朝6:00
夜間開院医療機関の案内	☎246-9797	案内時間 17:30～19:30
産婦人科休日緊急当番医の案内	☎244-0202	案内時間 8:00～17:00
子ども急病電話相談	#8000（プッシュ回線 / 携帯）	☎242-9939 19:00～22:00
幕張ベイクリニック	☎212-0505	内科 / 小児科 / 皮膚科 / アレルギー科
ドクターランド幕張	☎351-8555	内科 / 小児科 / 眼科他 科目により診療日時が異なる
サティクリニック	☎253-5517	内科 / 小児科 / 皮膚科 / アレルギー科

## ベイタウンはいい街ですか？ 中学生が街角インタビュー

11月20、21日の2日間。打瀬中学校では恒例の「EX 講座」が行われました。EX 講座は1年生を対象とした「地域の人が講師となって中学で授業をする」講座で、打瀬中ではもう10年以上も歴史のある授業です。

ベイタウンニュースも講座発足時からほぼ毎回協力して講師を派遣し、ニュースの記者を体験してもらう授業をしてきました。今年は少しレベルを上げて、28人の1年生を7グループに分け、それぞれの班で街へ出て街頭インタビューにチャレンジしました。事前にインタビューのテーマを決め、役割もインタビュアー、ディレクター、カメラマン、記録係に分けて準備万端で出発。当日はあいにくの雨でしたが、生徒達は懸命に取り組んでいました。以下は各班のまとめた記事です。【松村】

### 映し出された打瀬中の姿!!

私たちのテーマは「打瀬中のイメージ」でした。合わせて9人の方々にお話しを伺うことができました。小学校の先生に伺ったお話は、「建物が他の学校のつくりと違う」「部活動ががんばっている」「大人っぽく、実年齢よりプラス1～2才上に見える」というものでした。

これから打中がより良くなるためにはどうすればいいかと聞いたところ、「3つの小学校の小学生の中心になり、お手本になるような魅力ある中学生になってほしい」とのことでした。

地域の方々に打瀬中がちゃんと見られているんだ、と思ったのと同時に、打瀬中を誇りに思っていてくれて嬉しいと思いました。

【打瀬中1年 大和、丸橋、大林】



## リンコスのこだわり

インタビューしたのはリンコスで、店長に話を聞いた。リンコスは安い商品を大量仕入れするのではなく、質の高い商品をそれなりの値段で売るスーパーで、今日仕入れた商品を明日売るといった新鮮さにもこだわっていると話していた。売れすじの商品は肉や魚、野菜などの新鮮な食品だ。ベイタウンの人については食への意識が高く、自分たちも一緒に勉強していると話していた。店内では試食コーナーなどもありにぎわっていた。客の話では家に近くとても便利だという。このインタビューを終えて、ベイタウンの人達の良さが分かった気がする。



【打瀬中1年 政岡、笹谷、高畑、中山】

### GO GO GO パーク

ベイタウンの中には10カ所以上もの公園があります。そのなかでも人気の高い公園は「打瀬1丁目公園」でした。人気の理由は、広くて遊具が面白いからだそうです。学校帰りの小学校5年生の男の子達に聞いたところ、「家から近く、遊びに行きやすい」という意見がでました。小さなお子様を持つお母様方からの意見では、「学校の近くにある公園なら人通りも多く、安心して子どもを遊ばせられる」

そうです。また、公園の改善してほしいところは、「トイレをもっときれいにしてほしい」「屋根付きのベンチなどゆったりできる場所がほしい」という意見が出ました。インタビューを経て、このような意見が採用されると良いと思います。

【打瀬中1年 大木、小金、藤崎、宮脇】



### ベイタウンのポポポーン!!

街の人にベイタウンのことについてインタビューしました。内容は、ベイタウンに何年住んでいるか、好きな所ときらいな所、お気に入りの場所とほしい建物についてです。

1人目はマンションの管理人をしている丸山さんです。仕事で来ているのでベイタウンには住んでいないそうです。ベイタウンの好きなのところは街並みがすてきな所で、きれいな所はコミュニケーションが少ない所だそうです。2人目の人(R.S.さん)もコミュニケーションがとりにくいと言っていました。

3人目の乾さんはもう18年も住んでいて、ほしい所はスーパーだそうです。ベイタウンには高齢者が多くいますが、今は検見川浜のイズミヤまで行くのでたいへんだと述べていました。

【打瀬中1年 山本、藤井、仲川】



### Think ～ベイタウンに欲しいもの～

今ベイタウンに欲しいものをインタビューしたところ、「今のところ大丈夫」という意見もあったが、その中でも特に印象に残ったのは子連れの母親の「産婦人科とお総菜屋」という意見だ。産婦人科はベイタウンに住む妊婦のため、お総菜屋はもっとあると便利ということだった。私たちもベイタウンには若い夫婦が多いので産婦人科があると、ベイタウンがよりよくなると思う。また、お総菜屋は1軒しかないのもっと増やしてもいいと思った。



【打瀬中1年 岩崎、影長、竹葉、西澤】



## 今ベイトウンに必要なもの

僕たちは、街の方4人にベイトウンに必要なものについてインタビューしました。

60歳くらいの女性の方はスーパーが近くになく、不便だと話していた。その他の方も、商店街にスーパーの代わりにする店が欲しいと話していた。しかし、ある方はベイトウンにはたくさんの店があるので特にないと話していた。

僕たちは、街に大きなスーパーがないのは老人の方などに不便と思った。

【打瀬中1年 向井田、安井、石原】



## ベイトウンのコンビニはこうでなくっちゃ!!

ベイトウンのコンビニが24時間営業できない件について、街の人20人にインタビューした結果、次のようになった。24時間営業に反対の意見が45%、賛成の意見が35%、どちらでもないが20%だった。反対の意見は親世代が多く、防犯上良くないという意見が出た。一方、賛成の意見は小中学生が多く、「いつでも行けた方が便利」という意見が出た。ベイトウン特有のルールを守って、良い街にしていきたい。

【打瀬中1年 内山、花田、上村、田代】



## 第5回コア・フェスタが終了

11月23日、24日の2日間にわたってベイトウン・コアで行われた「コア・フェスタ2014」が無事終わりました。出演・展示をしていただいたサークルのみなさん、来場いただいたみなさんに感謝いたします。

コア・フェスタも今年で第5回になりました。毎年新たなサークルの参加があり、ベイトウンの秋のイベントとして定着してきたのかなと感じています。

回を重ねるごとに事務局の運営もすっかり地についてきました。今年は特に沢山のサークルの方が準備や当日の運営に進んで力を貸していただき、すこしずつですが「みんなで作るコア・フェスタ」になってきたように思います。

来年もまた新しいサークルが参加し、地域の文化イベントとして皆さんに楽しんでいただけるコア・フェスタであればと思います。



24日午後のアトリウム。ホール内で行われる演奏の入り待ちや展示をみるための来場者で人が途切れることはなかった。



(写真上) 今回初めて参加した「ベイトウン(勝手に)20周年年表制作委員会」の展示。

(写真中) 恒例の「こども将棋大会」。優勝はなんと小学2年生でした。

(写真下) 今回最も人気を集めた「幕張総合高校混声合唱団」の演奏。



## マリンデッキの障害物設置ー 続報

先月号で、マリンデッキの安全確保のための障害物設置について、記事を掲載しました。その後の経過について、お知らせします。【板東】

まず、交通委員会から、記事に関して以下のような反論があったので公平を期すため最初に紹介しておきます。ひとつは、あたかも自治会連合会および交通委員会が独自に進めているかのように読めるが、実際には、近隣街区の自治会からの要望があったことが元であったとのこと。二つ目は、「景観が大きく損なわれ、障害者の通行の邪魔にもなる」と記載されていますが、実際には、景観に配慮したデザインとし、ベビーカーも通行できるような設置案を要望しようとしているとのこと（注：車イスも通れるようにすると、自転車も乗ったまま通れるようになるため、基本的には車イス

はスロープでなく、エレベータの利用を前提とするとのこと）。

さて、記事に関連して意見をよびかけたところ、ベイトウンニュース編集部および交通委員会委員長百瀬さん宛に5通の投書（メール）がありました。うち2件は設置賛成、3件は設置反対というものでした。賛成意見としては、「安全重視」「事故が起きてからでは遅い」というもの。また、反対意見としては、「景観上好ましくない」「根気強い活動が必要」「ベビーカー、車イスが通れなくなる」「この数の設置では少なすぎて間の区間で自転車に乗ってしまうので、設置は無駄」というものでした。また、修正案として、「歩行者／自転車完全分離案（スロープと階段を使い分ける案、公園側の2方向のゆるいスロープを自転車を押して歩け、というのは無理があるた

め、片方向ずつ使い分ける案、等）」を提案された方もいました。

前号では、「周知不足」を指摘しましたが、自治会連合会では記事が出る以前にも、各街区自治会宛に、自転車走行の危険性と、ルールが守られない場合の障害物設置の可能性を告げるポスターの掲示を依頼していたそうです（ただし、実際には、掲示のあった街区と、なかった街区があり、広報体制の不備もあったようです）。また、交通委員会では、有志の協力も得て、記事の出た後の毎週末／週初を中心にマリンデッキでビラを配布し、自転車は降りて通行するように声掛けを継続して行っているそうです。中には、見ている所では降りてもまたすぐ乗ってしまう人や、まったく無視する人もおり、効果については疑問が残ると感じた委員もいるようです。

一方、ボランティアでビラまきに参加した一人からは、「続けていれば必ず効果はあると感じられた」との意見もありました。交通委員会の案は示されたものの、今後、どのようにこの問題に決着をつけるのか、自治会連合会では、まだ明確な青写真は描けていないようです。安全か、景観か、といった二者択一論では済みませんし、住民全員がどちらかの意見に統一されるはずもありません。何れにしろ、皆が関心を持ち、十分な議論を尽くし、そして結果はきちんと説明することが必要ではないでしょうか？

追記：「自転車と歩行者の接触事故が多発している」という話について、ベイトウンニュースでは、1件は記事にも掲載しましたが（2007年10月号）、実際に何件起きているのか、実態を把握できていません（警察に通報があった事故であれば把握できるかも知れませんが、そこまで至らないニアミスを含めるとどのぐらいなのか?）。「事故を見た」「こんな危ない思いをした」という方があれば、何時、どんな状況だったのか、ベイトウンニュース（mazmbtn@gmail.com）までお知らせ下さい。

## マリンデッキでの自転車注意の呼びかけに同行してみました。

11月10日の午前7:00から8:30の間、交通委員会がマリンデッキで注意喚起の呼びかけを行うというので取材も兼ねて参加してみました。マリンデッキのベイトウン側登り口あたりに陣取り、交通委員会の百瀬さんと2人で道行く人にチラシを手渡し、自転車で通行しようとする人には降りて通行するようにお願いするという仕事です。

この日は晴れて風も弱く、気持ちのいい朝でした。呼びかけを始めた7:00頃にはマリンデッキを通る人はまだまばらでしたが、平日の月曜日ということもあり人はだんだん増え始め、7:30頃になるとデッキ上でも道を譲り合ったりしながら人が通るようになってきました。たいていの方はベイトウンニュースで記事にしていたこともあり、ビラを渡す前から趣旨を理解してくれていたようで、こちらから「おはようございます」と声をかけると「ご苦勞様」と笑顔で返してくれます。こうなるとこちらでも楽しくなり、「行ってらっしゃい」と自然に声が出ます。事故が起きているので注意する目的で行っている活動のつもりでしたが、いつの間にかそんなことは忘れ、マリンデッキからプロムナードを眺めながら「いい街だな～」なんて独り言を言いたくなる気分でした。

さて肝心の自転車で通行する人への注意です。たいていの方はこちらがデッキの登り口に立っているのを見ると自転車を降りてくれるのでトラブルになるようなこともありません。たまに急いでいて坂道へスピードを上げて突入してくる人や、呼び止められて自転車を降りても途中からまた乗って通行する人も見かけられました。

注意する側からすればこれは腹の立つことで、こんな人がいるから事故が起きるのだと言いたくなります。しかしこれもよく考えれば無理のない話で、寝坊したりして

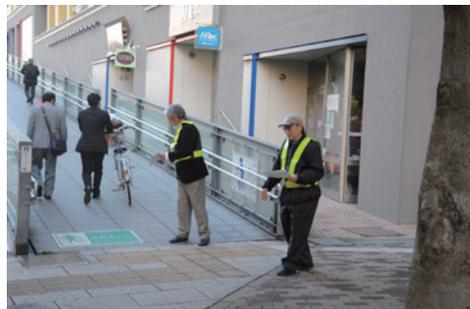
7:50の東京行に間に合うようにと急いでいるときに、訳も告げずに呼び止められて自転車を降りろと言われれば無視したくもなくなります。

最初に「おはようございます」と声を掛け、事故が起きているので自転車を降りて通行するようにと理由を話し、協力してくれれば「ありがとうございます」と声を掛ければ角は立たず、気分良く行ける筈です。要は事故が起きないようにするのが目的で、何がなんでも自転車から降りるのが目的ではありません。注意し合って道を譲りながら通行するようにすれば目的は達成できると思えました。この辺は注意する側の心配りも必要かなと思います。

この活動で効果があるのかどうか、人によって評価は様々だと思います。「声をかけたが無視された」と考えるか「たくさんの方が協力してくれた」と捉えるかは印象次第のような気もします。しかし、同行して取材した範囲ではベイトウンの人は乱暴で不心得な人ではなく、お願いすれば聞いてくれる人達でした。月並みですが、「みんなで注意し合っていい街にしましょう」というのが取材しての感想です。

交通委員会は今後もこの呼びかけを続けるそうです。みなさんも時間のあるときに声掛けに参加してみませんか、朝が気持ちよくなること請け合いですよ。

【松村】



## 恒例「ウィンターコンサート」のお知らせ

### 第25回ベイトウン音楽会（ウィンターコンサート）

日時：12月21日（日）開場 10:45、開演 11:00

場所：ベイトウン・コア音楽ホール  
ピアノ、うた、楽器演奏、街の子どもたちによるベル合奏。クリスマス前のひとときを、音楽あふれるコアホールでお過ごしください。

お問い合わせ：大垣 TEL:276-3878

【全日本学生音楽コンクール】全国大会ピアノ部門高校の部2位吉田サハラ氏（高2）が出演予定です。



## ベイトウンニュース恒例 年男年女撮影会

ベイトウンニュース年末の恒例行事、「新年年男年女撮影会」を行います。2015年の干支は「未」（ひつじ）です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

日時：2014年12月13日（土） 午前10:00～  
場所：ベイトウン・コア アトリウムに集合  
当日雨の場合はコアのアトリウムにて撮影します。

## 図書館のお知らせ

### ①わらべうたを楽しもう（毎月第2水曜日）

日時：12月10日（水）  
午前10:00～10:30 1・2歳児と保護者  
午前10:40～11:10 0歳児と保護者  
場所：ベイトウン・コア 講習室  
内容：体を動かしながら、わらべうたで遊びます。  
当日、直接会場に来てください。

### ②冬の親子おはなし会

日時：12月25日（木）  
午後 3:30～4:00 3歳児以上と保護者  
午後 4:00～4:30 5歳児以上と保護者、小学生  
お子さんだけでも参加できます。  
場所：ベイトウン・コア 講習室  
内容：3歳～ : パネルシアターや絵本の読み聞かせ。  
5歳～小学生：パネルシアターやおはなし（素話）。  
当日、直接会場に来てください。

### ③年末年始休館のお知らせ

年内は12月28日（日）まで開館します。  
年明けは1月4日（日）午後1時から開館します。  
詳細・問い合わせ：打瀬分館 TEL：272-4646

## 公民館主催事業のお知らせ

### 救急講座「AEDを使ってみよう」

AEDをあなたもぜひ1度体験してみませんか  
日時：12月19日（金） 午前9:30～11:00  
対象：成人  
定員：先着20名  
費用：なし  
用意するもの：筆記用具  
申し込み：12月2日から 直接または電話で打瀬公民館まで  
TEL：296-5100

## 12月のコア・イベント

わくわくおはなし会 クリスマススペシャル  
日時：12月20日 土曜日 10:30から  
場所：ベイトウン・コア講習室  
予約不要 途中入場できます。  
クリスマススペシャルで、わくわくするお話を用意してお待ちしています。  
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！  
予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎  
ブログ更新中・見てね\*\* <http://waku.makusta.jp/> \*\*  
お問合せ先：井上 (043-211-0188)

### 12月28日（土）寺子屋工作ランド

よく鳴る「でんでんだいこ」  
日時：12月28日 第4土曜日 9:30～11:30  
場所：ベイトウン・コアエ芸室  
持ってくるもの：よく切れるはさみ、セロテープ  
参加費：50円（保険料）

## ベイハーモニー クリスマスコンサート

日時：12月24日（水） 14:30開演  
場所：ベイトウン・コア 音楽ホール  
指揮：間谷勇 ピアノ：庄司章代・秋場律子  
プログラム：  
「白いうた青いうた」より ぶどう摘み・卒業 他  
「アナと雪の女王」より 生まれてはじめて・とびら開けて・レット  
イトット ゴー  
クリスマスソング 他。  
ユースクワイアの美しいコーラスをどうぞお楽しみください！  
ご来場をお待ちしております。

## ベイトウンの紅葉

5・3番街の間のイチョウがきれいに色づいてきました。ここに植えられているのはベイトウンの街開きの時からある木で、ベイトウンでは最も樹齢の長いイチョウになります。マンションの影で日が当たらず色づき方も木によってまちまちですが、街が年輪を重ねていくのと歩調を合わせてイチョウも年々紅葉が見事になります。



第30回

# 住宅ローン 無料 個別相談会開催



生涯で大きな支出となる住宅ローンはどこも同じではありません。長期固定返済の場合、1000万円を超える節約ケースも。これまで海浜幕張エリアで29回もの相談会の実績を持つ「ノア・ホーム・コンサルティング(株)」では、専門アドバイザーが多様な住宅ローンを中立公平な立場から評価し、適切にアドバイス。相談会は法人ならではのノウハウと信用、責任に基づき実施するので、約8割以上の方が【ローンの見直し・借換えを行い無駄な支出が押さえられました】と大好評です。

**金利1%低下で5年間短縮！約720万円の節約！**

※借入額3,000万円、返済期間32年、借換え費用差し引き後の場合

いずれかの条件に当てはまる方  
借り換えをお奨めします

- ★現在1.2%以上の金利
- ★金利上昇が気になる方
- ★返済期間残15年以上
- ★月額返済を減らしたい方
- ★残高1000万円以上
- ★段階金利が気になる方

要予約

300回以上の実績！

ノア・ホーム・コンサルティング(株)

☎03(3861)8631

平日の10時～20時受付

ノア・ホーム・コンサルティング 検索

